

※この記事・写真は岩手日報社の許諾を得て転載しています

## 出会い糧に夢へ一步



親友の小原玲奈さんとともに笑顔を見せる渡部彩乃さん(左)。「自分の力を最大限発揮できる場所を見つけていく」と未来に踏み出す

### 第一学院高盛岡キャンパス卒業式

### 不登校経験・渡部さん答辞

盛岡市大通の広域通信・単位制高校、第一学院高校 盛岡キャンパス(吉田真由子キャンパス長、生徒75人)

は16日、同市盛岡駅西通の市民文化ホールで卒業式を行い、高校中退などを経験した生徒29人が巣立った。中学時代に不登校だった渡部彩乃さん(18)が答辞を述

べ、成長のきっかけとなった出会いへの感謝を支えに、夢に向かって努力を続けることを誓った。

涙をこらえ、大切そうに卒業証書を受け取った。「自分を認めれば、次第に他人を認められるようになる。自分の意見を持つことができようになる」。しっか

りとした口調で、3年間の成果を後輩に伝えた。

中学1年の冬、祖父の死をきっかけに学校を休んだ。2年生になると再び通い始めたが、集団生活になじめず不登校に。担任の勧めで訪れた同校で、寄り添って話を聞いてくれる担当者の姿勢に入学を決め

た。入学後も苦しい時が続き何度もやめようと思ったが、粘り強く向き合う担任らとの会話が心をほぐした。「知らず知らずのうち

に自分を表現できる居場所ができた」と感謝する。カウンセラーや親友の小原玲奈さん(18)との出会いも刺激になって同級生や先輩に自分から関わられるようになり、3年の夏には校外でボランティアもした。

「苦しみ、悩んだ時期も

この3年間には必要だった。自信を持って『成長した』と言える」と実感を入れて振り返る。

春から東北福祉大の通信教育部福祉心理学科で学び、自分が変わるきっかけをくれたカウンセラーを目指す。「高校3年間を乗り越えた自分なら、大学卒業を成し遂げられる。気持ちに寄り添い、一緒に考えられる人になりたい」と、自信に満ちた表情で語る。